

I. 平成30年度の実績

グループ名称	「小豆島の家」研究会
H30採択グループ番号	—

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会		開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1		開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1			
	内容			
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済		発行予定	
② 住宅履歴情報の保管先		機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制		
内容		
② H30年度における施工構成員の廃業		
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①		
内容		
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	1 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	「小豆島の家」研究会
H30採択グループ番号	—

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/24	名称	グリーン化説明会	
	内容	今年度のグリーン化事業の取組みについて、共通ルールの確認や申請方法などについて、説明会を実施する計画です。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/10/19	名称	住宅見学会	
	内容	お客様や地域の方々を対象とした住宅見学会を実施する計画です。					
	消費者説明会 2		開催日		名称		
③ 工務店	工務店研修会 1	無	開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 2		開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称	タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称	タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有					
	内容	事務局でサポート体制を整え、未経験工務店の申請をサポートし、事務局と工務店の連携をとり円滑に進行できるようにします。					
取組み②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み③	サポートの有無 3						
	内容						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有		
内容	万が一、施工構成員の廃業があった時には、グループ構成員でサポートして維持管理をしていき、施主に負担のかからないようにします。		

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有		
内容	今年度の省エネ講習の受講を推奨します。		
省エネ化に対する取組み (改修)			
内容			

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日	
内容			
研修計画 ②		実施日	
内容			

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	「小豆島の家」研究会	
H30採択グループ番号	—	—

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	小豆島で植林された桧を、地域に根付いた家を作るために、主要構造材の土台に使用し地域の活性化を図ります。また、小豆島の風土にあった家づくりをし、安心して住める住宅を提供します。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	主要構造材である土台に土庄町森林組合の桧(合法木材)を使用し、その他の主要構造材に合法木材を使用します。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局で小豆島産の桧を10棟分備蓄し、供給側との連携をとっています。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局にて建材・資材の共同購入を目指し、調達単価の削減を図っています。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内で地域材(小豆島産の桧)の在庫状況を共有し、施工構成員に定期的に連絡をとっています。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	主要構造材である土台に小豆島産の桧を使用し、省エネ基準に準じた施工をし、施工技術の共通化を図ります。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	引き渡し後のメンテナンスを1年、5年、10年と定期的に行い、施工事業者と事務局で点検確認をします。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	点検、補修など実施したときに施工事業者と事務局で確認します。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	積算書には小豆島産の桧など明確にし、わかりやすい見積りの作成をするように心がけています。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	グループ構成員は基本的に週休2日を行っています。(一部隔週2日もあります。)また現場管理や社内教育の徹底を図り、時短を心がけています。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	グループで勉強会などを実施し、各事業者の向上を目指します。
③ 社会保険への加入	有	内容	グループ構成員は基本的に各種社会保険に加入しています。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全協力会などの実施をしています。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	「小豆島の家」研究会	
H30採択グループ番号	—	—

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	和室の良さを施主に説明してPRをし、少しでも採用してもらえるよう努めています。
② 和瓦の活用	有	内容	和瓦の提案を推奨しています。
③ 襖・障子の活用	有	内容	和室の良さを施主に説明してPRをし、少しでも採用してもらえるよう努めています。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	小豆島産の桧を使った和室を施主に推奨しています。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	小豆島は周りが海なので、外壁にはオゾンへの影響が少ない窯業系サイディングか、国産の板を利用しています。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	温暖な気候で古来から風通しの良い間取りが取り入れられているのでそれを継承しています。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	現在の街並みに配慮し、屋根・外壁の材料色彩の統一を目指しています。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	